

# みなみさんりく 議会だより



No. 67

令和4年11月1日発行

## 特集

令和3年度  
決算審査特別委員会 P2

名足小体育館完成は来年9月 —— 〈8月会議〉 P 8  
不正流用問題、全額弁済で和解へ —— 〈特別委員会〉 P 9  
町職員に関する条例一部改正 —— 〈9月会議〉 P10  
ここが聞きたい 6人登壇 —— 〈一般質問〉 P11  
まちづくりへの提言 —— 〈委員会報告〉 P17  
議会へのお願い —— 〈請願陳情〉 P18  
8月臨時・9月定例会議 —— 〈議案一覧〉 P18

### 《表紙》

10月1日にグランドオープンした「道の駅さんさん南三陸」。連日にぎわいを見せている。

予算の使われ方、それでいい？

# 決算審査に4日間で 令和3年度

## 質疑138件⇒原案どおり認定



町長は  
こう振り返る

### 令和3年度決算概要説明

令和3年度は、東日本大震災や台風19号被害からの復旧・復興事業に加え、町が抱える課題解決に向けた施策を展開した。コロナに対してはワクチンの接種率向上に努め、のべ28,651人の接種を完了した。

**東日本大震災からの復旧・復興事業の終幕**を迎え、道の駅「さんさん南三陸」もオープン。コロナ対策だけでなく、「志津川湾保全・活用計画」を策定し**産業の振興**に努めた。神割崎キャンプ場などの地域資源を生かした**交流・関係人口の拡大**も推進。また、おらほのまちづくり補助金などで参加と協働が活発な**住民が輝けるまちづくり**を推進した。

引き続き感染症対策と地域経済活動の両立を推進しながら、人事面でも町民から信頼される職員の育成を図り、持続可能なまちづくりの実現を目指す。※下線部は4つの主要方針

『復興後を見据えたまちづくりに取り組んだ一年であった』

### 総括的質疑



**後藤伸太郎議員**  
苦闘の一年で挑んだ、復興後を見据えたまちづくりとは？

**答** コロナに振り回された一年だったが、町民の方々がワクチン接種に積極的に関わり、一定の取り組みはできた。これまでもこれから人づくりが最重要課題。町のリーダーとなる人材を育てたい。

**「依存財源、自主財源のバランスは？」**

**答** 小さな町ゆえに町内で経済を循環させることが大



**今野雄紀議員**  
グリーンストランスフォーメーションへの取り組みは？

**答** 近年取り沙汰される流行り言葉に惑わされず、エコタウンへの挑戦といったこれまで高く評価されている取り組みを、自信を持って進めべきだと思う。



**菅原辰雄議員**  
目立つ不用額。使い残しがあるのでは？

**答** 執行率の低さは課題であるが、予算は充当する事業と結びついていくので、余ったお金を自由に流用できるかと言うところではない。



**伊藤俊議員**  
至らなかつた点は？

**答** 令和3年度で復興事業が完遂できず、伝承館が半年遅れたことは残念に思う。

念に思う。

**特別会計の今後の見通しは？**

**答** 水道料金の見直しはここ数年以内にあり得る。病院経営も頑張ってもらっているが、収支は厳しい。しかし、なくてはならない地域医療であるので、これからもしっかりと連携し支えていく。

くわしい質疑は次のページから！

一般会計	歳入	入ってきたお金(町税、地方交付税など)	230億4,055万1,967円
	歳出	出ていったお金(総務費、復興費など)	204億3,948万8,302円
	繰越額	次年度への繰越事業に充てるお金	12億2,340万8,775円
	実質収支額	歳入-(歳出+繰越額)	13億7,765万4,890円
	財政調整基金繰入金	いざという時使えるお金(貯金)	7億円

9月定例会議は、6日(火)から15日(木)まで、実質8日間開催され全ての議案を原案どおり可決、認定しました。

令和3年度の決算審査にあたっては特別委員会を設置し(村岡賢一委員長)本会議以上に丁寧な質疑が展開されました。

昨年度の決算をひも解いて、震災から11年目の町の現在地を把握し、次年度以降の方向性を見出す議会になったかどうか、ありのままをお伝えします。

特別会計	国民健康保険	歳入	20億2,792万5,595円	市場事業	歳入	3,512万2,645円
		歳出	18億7,375万6,813円		歳出	3,177万8,312円
	後期高齢者医療	歳入	1億4,997万1,235円	漁業集落排水事業	歳入	2,190万2,355円
		歳出	1億4,667万4,340円		歳出	1,444万2,149円
	介護保険	歳入	15億9,390万2,401円	公共下水道事業	歳入	1億6,433万0,600円
		歳出	15億4,216万1,266円		歳出	1億5,468万4,841円
企業会計	水道事業	収益的収入	6億3,565万8,714円	資本的収入	9億2,563万9,000円	
		収益的支出	6億4,979万4,912円	資本的支出	10億5,247万6,270円	
	病院事業	収益的収入	18億7,199万4,712円	資本的収入	8,203万6,092円	
		収益的支出	18億4,131万4,233円	資本的支出	8,206万3,267円	
	訪問看護ステーション事業	収益的収入	4,233万0,135円			
		収益的支出	4,304万5,050円			

# 《一般会計》

## 歳入

## 歳入

### 交流人口拡大は税収にどう反映？

〈町税〉

**問** (三浦清人委員) 観光客の誘致や交流人口の拡大に多くの予算が投じられているが、観光需要による町税への影響は。

**答** 分析はできかねる。営業所得は前年度より下がっているが、因果関係は把握できていない。

**問** これからも関連した予算は出てくる。根拠はつきりしない予算を議決するのはいかがなものか。調査が必要ではないのか。

**答** 業種ごとの細部はわからないが、事業所得や給与所得の動向、県が示す日帰り客の平均消費額などの有効な統計数値を用いて施策を展開する。

### 注目の質疑

### 高い収納率、今後も維持するためには

〈町税〉

**問** (後藤伸太郎委員) 収納率の低下は滞納額が起因すると推察するが、担当課としてどう取り組んでいくのか。

**答** 経験豊富な職員の減により、徴収の技術が低下した。今年度、職員を県の滞納整理機構に派遣している。課として技術の向上と継承を行なう。

### 不納欠損の要因は

〈町税〉

**問** (及川幸子委員) 毎年不納欠損が出るのは思わしくない。今後の対策は。

**答** 生活困窮で財産がない、あるいは転出による行方不明など執行停止要件は様々。窓口との連携は取れているが、連絡が途絶えないよう努める。

### 地方交付税、意外にも増だが

〈地方交付税〉

**問** (後藤伸太郎委員) 人口減少により減るはずの普通交付税と特別交付税が伸びているが。

**答** 普通交付税については、国のデジタル推進に伴う地域デジタル社会推進費の創設によるもの。特別交付税は、コロナ禍による地域医療の確保対策に交付された。

**問** 人口規模に見合った交付額になっていく時期が来ると思うが、国の動向をどう注視しているか。

**答** 国の臨時財政対策債でバランスを保っているが、段階的に減っていくと見ている。

## 歳

## 出

### 監査委員の報酬見直しは

〈総務費〉

**問** (三浦清人委員) 監査委員の報酬を引き上げる考えはないか。

**答** ほかの非常勤特別職との兼ね合いもあり、今後検討したい。

### 予算不足と言いつつ

〈総務費〉

**問** (三浦清人委員) 執行残を別事業で予算化して住民からの要望に応えられないか。

**答** 事業計画に基づいて予算執行しており、予算外を計画以外の事業に充てるのは難しい。

### 同行職員の時間外手当支給は

〈総務費〉

**問** (伊藤俊委員) 町長出張の際の同行職員の時間外手当や旅費支給は適正に行われているか。

**答** 出張中に、休憩や休息が伴う時間外手当については、運転業務職員には支給されるが、一般職員の同行者には支給されない。

### 結婚活動支援の成果と今後の課題は

〈総務費〉

**問** (須藤清孝委員) 婚活支援事業で成婚まで至らなかった理由は。

**答** コロナ禍もあり、思うような成果が得られなかった。本事業の取組みは引き続き行う。

### 障害者に寄り添って

〈民生費〉

**問** (及川幸子委員) 障害者に寄り添った雇用機会確保を望むが、民間事業者や役場における障害者雇用の現状は。

**答** 役場は7人の枠が割り当てられているが、現状では3名の障害者雇用で推移している。民間事業者でも募集するも応募者が少ない。

### 複数委員が質疑

#### ふるさと納税、委託により税収UP

〈寄附金〉

**問** (須藤清孝委員) 2年度途中で業務を見直し、3年度の目標額を上回る実績を上げた要因は。

**答** ポータルサイトを広く取り扱う業者に委託した事により、納税額が増額した。魅力のひとつである返礼品を活用し、地域のPRにも力を入れ取り組んでいく。

**問** (伊藤俊委員) 問口を広げたのに、町のホームページでの周知がわかりづらい方もいるのでは。

**答** 今のスタイルになり7年経過している。SNSとの連携も意識しながら次年度以降の検討を進めていく。

### 注目の質疑

#### 動いていない基金の取り崩しは

〈繰入金〉

**問** (後藤伸太郎委員) 使用目的がある基金のほが、数年にわたり総額にして2億3千万円もの基金に動きが見えない。しかるべき在り方の検討が必要なのではないか。

**答** 将来使うことに備え積むものや、運用方法に変更が認められたものもある。政策と連動し検討されるべきと考える。

#### 子育て世代の声を聴け

〈民生費〉

**問** (後藤伸太郎委員) 子ども、子育て会議がコロナ禍で開催されなかった。子育て世代の声を今後どのようにして反映するか。

**答** 今年度は早めに開催する。

#### 敬老祝いの商品券、利用率把握を

〈民生費〉

**問** (須藤清孝委員) 敬老祝いの商品券の利用率は把握しているか。

**答** 他の商品券と区分されておらず把握しきれない。

#### 特定不妊治療の内容は

〈衛生費〉

**問** (今野雄紀委員) 特定不妊治療事業の実績は。

**答** 2組、3件の方が対象であった。令和4年度から保険診療となるため令和3年度で終了となった。

#### 除草作業への補助はどのように

〈衛生費〉

**問** (須藤清孝委員) 個人所有地の除草について条例等で刈り払いを進める手立てはとれないか。

**答** 土地所有者に除草をお願いするしかない。今のところ条例制定などの考えはない。



のぞみ作業所

# 予算はどう使われたのか

## 焼却炉再稼働、新エネルギー導入は 〈衛生費〉

**問** (高橋尚勝委員) ゴミ焼却炉の再稼働の考えはないか。焼却用エネルギーとして水素の活用は考えは。

**答** ゴミの焼却量も年々減っており、再稼働の予定はない。今後も気仙沼市に委託し処理する。水素事業の視察は検討している。

## 自死対策、コロナ禍でどう進める 〈衛生費〉

**問** (及川幸子委員) 自殺対策事業はコロナ禍で集まりにくいならタブレット等を使った周知、啓発の仕方もある。民生委員等と連携して寄り添うことが大事では。

**答** 自死問題は複雑な要因によることが多い。関係機関と連携し解決につなげたい。

**問** (伊藤俊委員) 自殺対策事業であるが、自死対策事業と言い換えた方がよい。リーフレット配布やゲートキーパー養成研修が計画されていたが、コロナ禍で実施できなかった。今後の取組みは。

**答** 本事業は今後もみやぎ心のケアセンターとタイアップして進めていく。

## 注目の質疑

### コロナ、台風、米価下落：農家への支援は 〈農林水産業費〉

**問** (佐藤正明委員) 稲作農家緊急支援、台風19号災害復旧支援、中山間事業への取り組みは。

**答** 昨年度稲作農家への支援は57件、台風19号災害復旧支援は6件であった。中山間事業は今年度12月補正で対応する。

### 認定農業者減への対策急げ 〈農林水産業費〉

**問** (阿部司委員) 認定農業者は31経営体であり、前年度から3件減っている。要因は。

**答** 1件は酪農、もう1件は稲作農家の廃業など。

**問** 認定農業者は地域の中核農業者であり、減少は大きな問題である。関係機関と連携したサポートが必要では。

**答** 関係機関との協力により、先進事例や優れた営農組織を参考に経営支援を行っていく。

### 汚染牧草の処理状況は 〈農林水産業費〉

**問** (今野雄紀委員) 汚染牧草の処理状況は、あと何年くらいかかるか。

**答** 昨年度は大沢地区で15・9tの処理を行った。残が265tである。このペースで進めていくと20年近くかかる。町外での焼却処分も含め加速化したい。

### 起業・創業支援に力を 〈商工費〉

**問** (今野雄紀委員) 起業、創業支援の実績は。

**答** 令和3年度で採択になった事業は飲食業2件、自動車部品製造が1件、木工商品開発が1件である。

**問** (伊藤俊委員) 創業支援の特徴は。既存事業者とのバランスはとれているか。

**答** 当町の創業支援のプログラムに多くの地元の方々が関わっているのが特徴。既存事業者とのバランスは各種施策により配慮されている。

## 《特別会計》

### 認知症患者に対するケアは 〈訪問看護〉

**問** (今野雄紀委員) 認知症患者の状況と対応策は。

**答** 高齢化にともない増加傾向にある。いろいろな機会を設け、本人や介護者が孤立しないよう情報交換している。また、認知症サポーター養成講座において、高校生から企業まで3,500人以上が受講しており、地域で見守る取り組みを進めている。

### 買受人増加は 〈市場事業〉

**問** (今野雄紀委員) 買受人の公募に動きがあったようだが、状況はどうか。

**答** 7月から募集を始め問い合わせが1件あった。今後は漁協と協力しながら誘致に奔走していく。

### 公債費の割合が大きい 〈漁業集落排水事業〉

**問** (後藤伸太郎委員) 歳出額千4百万円のうち、3分の2以上が返済と利息の支払いである。状況を直すべきではないか。

**答** 現時点において細部まで話せないが、優先順位をつけて着手していく。

### 神割崎キャンプ場、発注手法に 問題は 〈商工費〉

**問** (佐藤雄一委員) 神割崎キャンプ場の工事発注手法に問題はなかったか。

**答** 審査委員会を選定された事業者であり、基準に合致している。

**問** (三浦清人委員) 競争原理に基づかない随意契約は望ましくない。町内業者優先も分らないが、競争入札での業者選定が妥当では。

**答** 審査委員会でも同様の意見があったと記憶している。今回は担当課から上がってきた原案を了とした。

### 様々な観光の形を 〈商工費〉

**問** (伊藤俊委員) 多様な観光ニーズにどのように対応するか。

**答** 本町には独自の観光資源がある。地域の声や消費者ニーズに耳を傾けながら進めていく。

### 道の駅の運営主体は 〈復興費〉

**問** (今野雄紀委員) 道の駅の運営主体は町ということだが、今後順調に運営できるのか。

**答** 今後一年間の推移を見ながら、管理運営を適正に行う。

### 津波の新想定にどう対応するのが 〈消防費〉

**問** (三浦清人委員) 20メートルの津波を想定した場合、浸水が予想される避難所は何カ所あるか。

**答** 林地区の避難所が浸水区域に入ってしまう。林地区の皆さんには伝えてある。

### ゆるスポーツに触れる機会を 〈教育費〉

**問** (今野雄紀委員) ゆるスポーツを生涯スポーツとして活用を。

**答** 生涯スポーツとして支援したい。

### 学力向上対策の目標は 〈教育費〉

**問** (今野雄紀委員) 学力向上における目標設定は。

**答** 学力向上の目標は一人一人が前回より成績が高くなるという目標にしている。当町では近年、前年度より高い成績を上げ、全体の平均より上がってきている。

# 不正流用問題、全額弁済で和解へ

昨年12月以来の特別委員会が8月2日、8月19日に開催されました。事実関係や損害弁済額も整理され、町側と当事者側協議の上で示された和解案を特別委員会での審議を経て、本会議でも審議致しました。

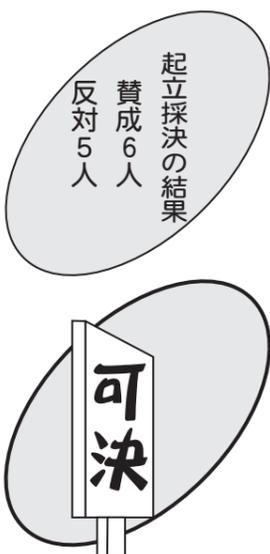
**問** (今野雄紀議員) 弁護士による意見書の反映はどのようなになったか。  
**答** 事実関係や責任、過失相殺について意見を頂いていたが、当事者からの意向も踏まえつつ町の責任についても整理を進めている。

**問** (三浦清人委員) 町側の責任、度合いはいつ確定するのか。また、再発防止の考えは。  
**答** 早急に進めていく。また再発防止についても個人、組織両面から対策を進めていく。

**問** 責任の根拠が曖昧ではないのか。  
**答** 弁済は始まるが今後関係職員等の責任も明確にしていく。

補助金の支出総額	18,600,000 円
使用された額	3,188,092 円
通帳に残された額	123,732 円
不正流用額	15,288,176 円

**問** (伊藤俊委員) 弁済契約書を交わす際に保証人等が必要なのか。  
**答** 強制執行認諾条項付きの公正証書を作成し対応する。



**反対**  
 (今野雄紀議員)  
 今回の和解案はまだ見直すべき部分もあると考え、監査委員報告によって町側の責任の大きさもはっきりと示すべきであり反対。

**賛成**  
 (後藤伸太郎議員)  
 町側は町側の責任が確定してからの和解では、監査の意見書が届いてから進めるべきでは。監査についても出来る限り早く進めていく。

## 議案 審議

8月会議・8月第2回会議

# 名足小体育館完成は来年9月

◆ 工事費 3億7,400万円  
 ◆ 内容 屋内運動場の新築工事と既存建物の解体工事  
 ◆ 工事期間 令和5年9月までを予定  
 ◆ 駐車場整備工事 2カ所に21台分を整備  
**問** (及川幸子議員) 屋内運動場は避難所にならないのか。  
**答** 名足こども園が避難所になるため、名足小は避難場所に指定してない。  
**問** 工事期間中の通学の安全性への配慮は。  
**答** 学校、教育委員会とも連携して安全確保に努める。  
**問** (今野雄紀議員) 地域の方も利用できる仕組みは。  
**答** 社会教育施設として生涯スポーツの振興に寄与できると考えている。

## 正算 補算

8月会議・8月第2回会議

# 7月大雨被害の復旧予算を計上

公共土木災害復旧事業として、道路、河川の災害復旧にかかる所要額が計上された。  
**問** (佐藤正明議員) 今年3月の時点で台風19号からの災害復旧事業について、見直しの検討や現地調査を求めているがその後の進捗は。  
**答** 今までも現地確認はして来たが、未確認場所もあるかもしれない、さらに現地等を確認し、対応を検討したい。  
**問** (後藤伸太郎議員) 改良復旧を施せるところはあるか。  
**答** 予算計上段階で林道、町道、河川合わせ国債使用箇所は約35カ所あり、また、町債使用箇所は七十カ所になる。ほとんどは原型復旧が基本となる。

台風19号からの復旧が不十分だったのでは

生活支援応援券 使用可能な店舗に区分

今回は世帯ごとではなく町民1人あたり5千円分の商品券を配布。  
**問** (三浦清人議員) 3千円と2千円の区分を設けたのはなぜか。  
**答** 趣旨が原油価格の高騰や物価の高騰で打撃を受けた地域経済への支援がメインということになるため、地域の商店を支援するという部分と、住民のニーズにもきちんと対応したいという部分から今回の仕組みを提案している。

漁船の補助はまだか

5t以下の漁船に対しても燃料高騰対策補助を実施。  
**問** (三浦清人議員) なぜ実施が遅くなっているのか。また、補助の時期、対象はどのようになっているか。  
**答** 今回対象になる船の数が多いため、国からの地方創生臨時交付金が交付されたことで実施となる。市場への水揚げ金額によって算定されることになるので、漁業者には漁協を通じて申請いただき、できるだけ早く支出ができるような状況にしたい。

# 案議 審議

9月定例会議

## 育児休業 取りやすい雰囲気

町職員の育児休業等に関する条例の一部改正に伴い、男女を問わず従来の育児休業のほかに再度期間内の休業取得が設定された。

**問** (後藤伸太郎議員) パンフレット等で分かりやすく取得しやすくすべきではないか。

**答** ポイントをまとめ整理したい。

**問** (及川幸子議員) 職員採用時の性差による不安要素とらないか。

**答** 現状ではない。

**問** (伊藤俊議員) 男性の育休は初めてになるが環境等への対応は。

**答** 現下の社会情勢では男性も育休取得は特別なことではなく、各家庭へ浸透させていきたい。

## 田の浦防潮堤いよいよ

**問** (及川幸子議員) 契約額変更の要因が盛土材が購入土から流用土に変更したためとあるがどこから求めたものか。

**答** 当初は戸倉地区を予定していたが流用土は中山、牧田から搬送した。

**問** (三浦清人議員) 排水路を新設されたが広く大きいため上に蓋をかけて欲しい。

**答** 水路の両サイドにガードレールで保護を考えている。



田の浦防潮堤

ている。

**問** (今野雄紀議員) 流用土の残りはどれほどか。

**答** まだ7万m<sup>3</sup>ほどある。

**問** 今後の使用予定は。

**答** 計画はないが県、国で方が一欲しい事情があれば対応したいと考えている。

## 泊浜避難所の照明は

**問** (及川幸子議員) 震災前は照明が2灯あったが補充は。

**答** 漁港は県の管理だが、地域の方々の意向を確認し協議を進める。

## 過疎地域計画を変更

**問** (及川幸子議員) 社会教育施設整備の具体的な内容は。

**答** スポーツ交流村の防犯カメラの設置と、フロアシアターの交換を行う。

**問** (今野雄紀議員) 今回の計画変更で今後施設導入は可能か。

**答** 教育施設等であればハード、ソフトの両面での対応は可能になる。

# 正算 補予

9月定例会議

## うみべの広場整備に1億9000万円

**問** (伊藤俊議員) うみべの広場の工事内容は。

**答** 日常的な公園やイベント会場として芝張りを行い、L字型に駐車場を配置する。

**問** (三浦清人議員) 津波の新想定に対応した高さか。

**答** 防潮堤より高いが、避難経路等に留意して取り組む。

## 志津川中学校 多目的トイレを設置

**問** (須藤清孝議員) どこに設けるのか。

**答** 現在、学校施設で多目的トイレがないのは志津川中学校のみのため、校舎一階の空き教室へ設置する。

## アートのなじみのない人もいるのでは

**問** (三浦清人議員) 伝承施設に設置するボルタンスキー氏のアート作品に1,600万円かかるが町民は納得するか。

**答** 氏が震災直後、三陸沿岸を訪れ感じ得たものを作品にしたもので、その価値を金額で表示することは難しい。

## 自然活用

### 町有林等の伐採計画と今後の利活用は

#### 町長 整備計画に基づき進めると共に景観活用は 智恵を集めて検討する

**問** 国際情勢の混乱から国産材の需要が高まっているが、町有林及び分収林の面積と昨年度の事業実績は。

**答** 町有林が1,753haで、そのうち国、県、公社への貸出地の分収林は424haになる。事業実績は保有事業41ha、収入間伐で45haである。

**問** 今年春から続く国際情勢の混乱から肥料、飼料の高騰により広大な採草地を有する酪農家の廃

業が見られ、今後の山間部荒廃が懸念されるが町としての取組は。

**答** 町の森林整備計画に基づき進めていく。

**問** 現在民有林は10,742haあり、町全体の86%を占め、過去の建築基準法改訂と外国材の輸入で国産材が低迷し、山林は荒廃しつつある。町

としての取組は民有林経営の指標的立場にあると思うが今後の対応は。

**答** 来年度より5年間の森林経営計画を策定する予定で、そのため今年度中に分収林の代表者、地域林政アドバイザー等今後の森林施策の在り方を協議する予定である。

**問** 森林伐採後の管理で



海里山、自然が調和する町 南三陸



高校魅力化に取組む志津川高校

あるが、町では今「FSC」「ASC」「ブルーフラッグ」への取組と自然環境を題材とした国際認証に取り組んでいるが、これと調和する方法として、祈りの丘から見えるように桜、つつじ、もみじ、寒椿等を山腹に植林し周年で楽しめるような「南三陸町版桃源郷」を

「南三陸町版桃源郷」をブランドデザインしては、祈りの丘には桜を植林しており、成長するに従い具現化してくると思う。他の山腹活用については今後、地域林政アドバイザー等の知恵を集め検討する。

## 魅力発揮

### (仮称)南三陸高校の生徒全国募集の 開始と高校魅力化について

#### 町長 地域高校・各関係機関と 連携し魅力化に取り組む。

**問** 生徒の全国募集の現在の進捗状況は。

**答** 7月、8月の2回にわたりオープンキャンパスを開催し全国から7名の参加があり、来年3月までに選考して一般入試の結果で決定していく。

**問** 他県から寮生活した場合の負担額は。

**答** 月額5万5千円で設定している。

**問** 他校との差別化の点は何があるのか。

**答** (株)ARCと連携した「リナックス」資格を目指している。また来月より希望者へ学校給食を提供し、さらに町を題材とした課題解決学習や地域学、地域探究学をはじめ、他校にはない魅力と認識している。

**問** 当町では「森・里・海・ひと、命めぐるまちづくり」で防災対策の必要性を感じるが防災知識を学ぶ上で「防災士」という資格取得支援をされているか。

**答** 現在においても実施しており、今後も支援を継続する。

**問** 少子高齢化、過疎化は行政のスリム化へと直結し、これらの取り組み支援を、高校魅力化の一つとしてPRしては。

**答** 小中学校においても少年防災クラブで活躍しており、今後も支援を続けていく。

施設整備

老朽化が目立つ消防施設等の改修は

町長 地域と議論し意見交換をして計画的に整備を進めていく



現在測量をしている。

今後の入谷地区の消防施設の設計計画は。

50年代建築が4か所、歌津には2か所の計6か所ある。地域の方々と議論し意見交換し進めていく。

消防団員の確保は。

今後においても引き

老朽化が目立つ消防施設等の改修計画は。

被災していない15カ所、どのような形で進めていくのか。

実情を精査し、地域と話し合いを持ち、計画的に整備を進めていく。

屯所の維持管理は各班に任されているのか。屯所の維持管理費は町が負担している。



入谷地区第一号となる水口沢班屯所

引き続き必要な団員数の確保に努めていく。



狭隘で見通しも悪い町道信倉線

道路網の整備

町道信倉線を拡幅・改修する考えはないか 町長 多額を要するため改良事業の実施は財政上困難

今回も国道の弱点が露呈した。生活道路を確保する必要があるため町道信倉線を拡幅、回収する考えはないか。

町としても防災上重要な路線と認識している。多額の事業費を要するため日常の交通量の状況を見ると、国の補助を活用して整備することは見込めない。全線改良の実施は町財政上も困難と思われる。

この路線は連絡道路として必要な道路でもあり、狭隘で見通しも悪く事故などを招く道路でもある。余裕をもって通行できる路線にできないか。

残念ながら財政、財源上難しいと思う。必要部分については退避所等を設置して、ちゃんと通行できるように方向での整備という方向で今後検討していく。

支出は人件費が一番大きく約千5百万円の見込みになり、光熱費や清掃委託料を含め年間約2千2百万円から2千3百万円の試算。収入の柱は入館料になり、収支差額がマイナスにならないことを目指す。

地域連携機能の具体的な取組みの考えは。観光協会のマルシェ部会を中心に、物産イベントなどもネットワークを強化しつつ進めていく。

国、県がDX導入推進の指針を示しているが、当町の取組は。①証明書コンビニ交付サービス。②マイナンバーカード申請サポート。③行政手続に係る押印廃止。今後より良い住民サービスを構築するた

展望 & 活用

「道の駅さんさん南三陸」の今後の展望と活用は

町長 南三陸町全体に賑わいを創出することが道の駅の重要な役割

道の駅が果たす機能と活用策は。

交通拠点、観光拠点、伝承施設及びさんさん商店街が1つに集約されることで相乗効果を生み、町全体に賑わいを作る事が重要な役割である。

全体の運営体制とコストの見込みは。

全体（体制）全体の運営管理は町が行う。さんさん商店街や観光協会等と連絡会を適宜開催し運営し

（コスト）施設の維持管理費等。既存施設の利用でコストの抑制を図る。

311メモリアルのラーニングプログラム詳細、利用者数と収益想定は。

ラーニングプログラムは、町民の震災体験等に基づいた学習プログラムは防災意識の向上につながる内容。想定利用者数は年間約4万人。収益は約2千3百万円を見込んでいる。

311メモリアルの主要な展示テーマ、「アート」と「感謝」の詳細は。

（アート）フランスの現代美術家・ボルタンス



議会議員一同も9月22日に施設内を見学

随意契約

昨年度の随意契約の件数と総額は 町長 件数として約500件、総額で約47億円

我々議員も町民も知らないうちに当事者間で行われている随意契約を見える化により、町民の不信感を払拭できるのでないか。

そのすべての結果を公表することは体制的にも大変難しいと思う。

随意契約についても入札同様その内容を公表すべきではないか。

透明性を確保する点では入札同様に公表することが望ましいと考える。

年間47億円という多額のお金が動くということは、透明性を確保するために必要があると思うが。

総務課だけでも約500件、他の課でもあり膨大な業務になる。そこ

DX推進

自治体におけるDX推進と業務効率化を 町長 国や県の動向を見極め、より良い住民サービスの構築を目指す

国、県がDX導入推進の指針を示しているが、当町の取組は。

①証明書コンビニ交付サービス。②マイナンバーカード申請サポート。③行政手続に係る押印廃止。今後より良い住民サービスを構築するた

各分野のDX人材確保、育成の考えは。

情報化推進を目的に各課に情報化リーダーを設置している。今後は、デジタル庁をはじめとする国や県の動向を見極めながら、DX人材確保及び育成に取り組む。

改善推進

円滑な町政運営のために町職員に求められるものとは 町長 再発防止策を講じ、職場環境改善を推進

繰り返される職員の不適切事務処理について、原因の把握、職務遂行環境整備、再発防止策は。

①関係書類の確認等、職員の懲戒処分を指針改正。③ 具体的な改善策は。



襟を正し、町民のために

行政管理課による事務のチェック機能強化、情報共有を図りやすい職場環境づくりを推進。

雑草を活かせ

メドウガーデンで町づくりを

町長 手法のひとつとして排除するものではない



問 折念公園の草刈りは当初から職員たちがやるという構想では。

答 町内外のボランティアが訪れ美化活動をしている。

問 職員の方たちは。

答 基本的には職員で、公園内を4分割し、庁舎1階と、2階・3階とケアセンターの3チームで、メインは建設課が担う。

問 メドウガーデンの発想手法を取り入れた管理も可能では。

答 本格的にやると非常に



記念じゃなくて折念公園なので、管理のほどをしっかりと

に手間がかかり、種苗代など、毎年お金をかけてやる考えはない。

問 公営住宅や町内11カ所の都市公園なども、メドウガーデン風の一部を管理できないか。

答 町民皆さんは、すばつときれいな公園管理を望んでいる。

問 持続可能なまちづくりでの環境に対する有効さ、雑草を生かしたメドウタウンへの道も必要ではないか。

答 全く今は検討していないが、提案として受け止める。

利便性の確保

BRTの柳津石巻間直通へ

町長 JRの理解は大変難しい

問 JRの赤字路線で、陸羽東線等の見直しが必要と聞かれた。今後BRT化の可能性が高くなつたので、柳津から石巻への直通を今のうちから取り組む必要があるのでは。

答 赤字6路線として名前が出ただけで、今後の方向性はJRで何ら決定していない。しかもこれは、地元自治体の心情的で、非常にシビアな問題なので、私からコメントは避ける。

問 公共交通として、将来的に通院等に有効に活用できるのでは。

答 公共交通は、通院だけがメインではない。

問 三陸道への高速バスを想定している。

答 現在配布しているBRTの時刻表に、前谷地小牛田、石巻仙台の接続時間も必要ではないか。

南三陸塾

生涯学習・地域づくりへ人材育成を

町長 3つの柱に沿って次世代リーダーを確保する

問 地域づくりの人材育成、確保をどのような形で進めていくのか。

答 合併を機に南三陸ブランド塾が発足し、大災害発災時をはじめ、その後においてリーダーとして活躍している。未来に向けた地域リーダー、プレイヤーなどの実践者が

存在不可欠だ。仮称南三陸塾で、個々の人材育成強化、人材の相互交流とネットワーク強化、外部人材活用に対する支援の3つの柱に沿って人材確保する。



柳津駅から、一路石巻へと続くことを、願うことしきり

問 再任用職員を積極的に生涯学習分野に登用し、退職後も地域づくりに貢献してもらっては。

答 再任用の意向確認時に、業務の希望、行政経験で培ったノウハウなどにより、適材適所で能力を発揮していただく。

憲法9条

戦争放棄があったから平和な日本

町長 国を守るから防衛は必要

問 憲法9条「戦争の放棄」があるから、我が国は77年間も平和で来た。歴代の総理はこの事を守り抜いてきた。日本は武力行使や戦争が出来ない国なので防衛もいらなと思うが。

答 それは違うと思う。国民を守る事が政府の大きな役割で、防衛は必要と思う。

問 日本人は当事者意識に欠けている所があるが、毎年追悼式をやっているので恒久平和の実現に取り組みたい。

答 気仙沼市は「核のない平和なまち」の看板を掲げている。当町もこの事を条例化して、改めて

問 平和の尊さを町民挙げて推進すべきと思うが。

答 核の脅威はすべからず、核の脅威は持つていく町民は持つていく。伝承館がオープンするが、この原爆投下の事も追加で投影出来ないか。

答 ここは特化して町が受けた被害、受けた感謝を伝える場所である。

遺族の声

ご遺族の想いは叶えられないのか

町長 意向調査では800人から了承を得た

問 犠牲者名簿を石に刻むことを遺族の人達は希望しているが、町長の考えを伺う。

答 震災の記憶と教訓を継承していくため祈りの丘のモニメントに名簿を安置している。

問 以前私の質問の答弁には800人からの方が今の方法に賛成された。と話されたが、石に刻む事のアンケートは取らざるを得ないが。

答 かつたのか。及川議員の所に慰霊碑の音が届くが、役場には届いていない。

問 (平成30年12月意向調査の文面を朗読) 最初から祈りの丘に安置の意向調査だった。ご遺族には丁寧な説明もなく石に刻む事の声を挙げるいとまが無かった。役場誘導の意向調査であったと言わざるを得ないが。

答 入谷の区長会(全員ではない)に相談したら入谷は要らない、志津川に慰霊の丘があるからとの回答を得た。

問 遺族の強い意志があれば役場に電話をよこすのが当たり前だと思う。最初から「慰霊か・名簿安置か」を調査すべきであった。あの築山は都市公園だが厳密に名簿安置は可能か。

答 名簿安置してはダメという決まりは無い。

問 戸倉・歌津は石碑があるが、入谷・志津川は無いため創るべきではないか。

問 広島や長崎に原子爆弾が投下され尊い命が奪われ、今でも被爆者は苦しんでいる事を考えるべ



平和な社会にこそ未来がある

交通環境

町民バスの土日の運行を

町長 ささまざまな検討を重ねたい

問 町民バスの利用客が少ないが、その要因を分析しているか。

答 道の駅さんさんにバスの駅を移設して、高速バスやBRTと連携しながら複数の手法を検討し

問 カルシエアリングの実証実験の結果は。

答 林蔭地区で令和元年11月に設立、高齢者の移動支援や地域コミュニティ推進に繋がっている。

問 町民バスは土日運休している。どちらか1日運行の要望があるが。

答 今後オンデマンド・バスの見直しや充実、カルシエアなど検討を重ねたい。

信頼回復

不祥事の反省・教訓をどう活かすか

町長 自分ごととして捉え、基本的な確認事項を徹底する



問 研修後、改善案が自主的に提出されているか。  
答 レポートは提出させている。

問 事務を見直した結果、補助事業等のカード決済が不可になったと聞く。  
答 9件。ホームページからの相談が多い。

問 5月に留意事項として周知したのだが、補助事業や地域おこし協力隊の活動は一切のカード決済が難しい。  
答 復興工事による損失補償で契約締結が難航している事例がある。丁寧

問 住宅使用料未請求問題、町税賦課問題、消防防災施設不適切事務問題、町補助金不正流用問題など、不祥事が頻発している。訓示や研修は効果を上げているか。  
答 不祥事が繰り返されており、効果が得られているとは言い難い。ただ、不祥事の多くは震災に起因していることも事実。未知の事務も多く、派遣職員との大混成部隊での事務処理でもあった。



町民に信頼される仕事を

に説明すべきと思うが。  
問 交渉事では丁寧な説明は基本。できない理由ではなくできる理由を考へようとする。繰り返してききたが、法を逸脱するよな内容は、できないも  
問 志津川地区まちづくり協議会がおこなったアンケートの結果をどう受け止めたか。  
答 提言書はこれからのことだが、真摯に受け止め、一つでも多く具現化するため取り組む。  
問 若い世代の声にこたえ、予算化し、成功体験をさせることが重要だ。今後の協働をどう進めるか。  
答 行政の限界を協働で超え地域課題を解決するため、連携を強化したい。  
問 アンケートには町内に大学を作るというアイ

協働推進

まちづくり協議会のアンケートの検討結果は町長 真摯に受け止め、一つでも多く具現化する



まちづくり協議会のアンケートまとめはこちら

後期高齢者

制度改正に便乗する詐欺の防止を町長 関係機関と連携して取り組む

問 10月から後期高齢者医療制度の改正があり、これまでの1割負担から2割負担になる人が出てくる。急増配慮措置により還付金を受け取れる場合があるが、口座開設が必要で、特殊詐欺に狙われる恐れがあるが。  
答 187名の対象者は広域連合から直接お知らせが届く。町でも関係機関と連携して、不安解消に取り組む。

地域全体で魅力化プロジェクトの成功を

総務産業建設 常任委員会

令和4年6月24日、地方創生事業の取組状況を調査するため、南三陸町高校魅力化プロジェクトについて企画課職員から聞き取り調査を行った。

調査の目的

当町、唯一の高校の存在が町の未来に与える影響は大きく、南三陸町高校魅力化プロジェクトの成果は重要な起点となる。来年度の始動に向け取り組まれている、南三陸町高校魅力化プロジェクトの進捗状況について調査するため、企画課職員から聞き取り調査を行った。

調査の概要

高校魅力化は3つの柱で進められており、地域学や地域探求学といったカリキュラム改革、授業や公営塾を活用してのLPIC資格取得支援の実施。令和5年度からは、県内の公立高校で初の全国募集による生徒の受け入れを開始することが決定している。地域起業家精神を兼ね備え、IT分野においても貴重な「人財」が育つことができる環境整備へと着実に歩みを進めていた。

当町の施策が地域住民の思いに寄り添い、地域活性化につながる地方創生事業への取組になっているか、さらに調査検討する必要があるため継続調査とする。



志津川高校

公民館事業のさらなる充実を

民生教育防災 常任委員会

7月に公民館事業について先進事例の視察を行う予定であったが、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により延期することとした。

調査の目的

少子高齢化やコロナ禍の中で、地方の活力は減退しているが、豊かな暮らしを実現するためには地域コミュニティの力が不可欠であり、その中核を担う公民館の役割は重要である。指定管理者制度の導入も含めた今後のあり方について、調査、検討する。

調査の概要

地域の社会教育の場の中心となっている各公民館事業の状況について視察を行う予定であったが、延期することとした。町内施設や町職員からの聞き取り調査はすでに行っているため、継続調査とする。感染状況の推移を見つ、可能であれば10月に先進事例の視察を行う予定である。

8月臨時会議 議案一覧 2件 (工事1件・予算1件)

工事	議案第15号	令和4年度名足小学校屋内運動場改築工事を山庄建設(株)と3億7,400万円で契約締結。工期令和5年3月31日まで。→P.8
予算	議案第16号	令和4年度一般会計補正予算(第2号)。7月豪雨災害復旧工事57件。→P.8

8月第2回臨時会議 議案一覧 3件 (和解1件・予算2件)

和解	議案第17号	和解について。→P.9
予算	議案第18号	令和4年度一般会計補正予算(第3号)。→P.8
予算	議案第19号	令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)。

9月定例会議 議案一覧 32件

(条例3件・工事3件・財産6件・その他1件・同意2件・予算4件・報告2件・認定10件・陳情1件)

条例	議案第20号	育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定。→P.10
条例	議案第21号	国民健康保険条例の一部を改正する条例制定。
条例	議案第22号	議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定。
工事	議案第23号	令和3年度町道横断1号線道路改良工事(その2)を阿部藤建設(株)と392万円減額し、8,188万円で変更契約締結。工期令和4年12月23日。
工事	議案第24号	平成29年度田浦漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を(株)阿部伊組と6,070万円減額し、28億1,481万円で変更契約締結。工期令和4年10月31日。→P.10
工事	議案第25号	令和2年度泊浜地区外1地区避難路等整備工事を山庄建設(株)と950万円減額し、1億797万円で変更契約締結。工期令和4年9月30日。→P.10
財産	議案第26号	スポーツ交流村フロアシート等購入業務を(株)三英と760万円で物品売買随意契約締結。
財産	議案第27号	町道路線(清水浜地区阿曾線)の変更認定。
財産	議案第28号	字の区域歌津地区(大沼)の変更認定。
財産	議案第29号	字の区域戸倉地区(館ノ下・瀬保の口・田子沢・日向・切曾木・広畑)の変更認定。
財産	議案第30号	字の区域戸倉地区(門内・綱木沢)の変更認定。
財産	議案第31号	字の区域志津川地区(廻館前・中瀬町・廻館・塩入・竹川原)の変更認定。
その他	議案第32号	過疎地域持続的発展計画の変更について。→P.10
同意	同意第1号	教育委員会教育長の任命について。→P.10
同意	同意第2号	教育委員会委員の任命について。
予算	議案第33号	令和4年度一般会計補正予算(第4号)。→P.10
予算	議案第34号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第35号	令和4年度市場事業特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第36号	令和4年度病院事業会計補正予算(第1号)。
報告	報告第7号	令和3年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率について。
報告	報告第8号	令和3年度決算に基づく南三陸町資金不足比率について。
認定	認定第1号	令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第2号	令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2

認定	認定第3号	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第4号	令和3年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第5号	令和3年度市場事業特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第6号	令和3年度漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第7号	令和3年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第8号	令和3年度水道事業会計決算の認定。→P.2
認定	認定第9号	令和3年度病院事業会計決算の認定。→P.2
認定	認定第10号	令和3年度訪問看護ステーション事業会計決算の認定。→P.2
陳情	陳情4の1	来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金額に引き上げる事を求める陳情書。→P.18

町補助金の不正流用問題に関する調査特別委員会表決状況一覧

議員名	議決結果	賛成	反対	表決結果													
				伊藤俊	阿部司	高橋尚勝	須藤清孝	佐藤雄一	後藤伸太郎	佐藤正明	及川幸子	村岡賢一	今野雄紀	三浦清人	菅原辰雄	星喜美男	
議案第17号	原案可決	6	5	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○

※採決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長・委員長は表決に加わりません。

# 議会へのお願い

## 陳情書

受理番号	件名	審査結果
陳情 4の1	来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金額に引き上げる事を求める陳情書	本会議において審議した結果、採択すべきもの

# わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。  
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「地球は温暖化なのではないでしょうか？」



歌津中山 最知 隆さん

歌津地区で主にワカメとホタテ、ホヤを養殖している養殖漁業者です。

早いもので家業を継いでから30年あまりが経ちましたが、今の海水温の上昇などの影響で、今まで獲れていた魚が獲れなくなったり、藻場の群生の仕方が変化したりと自然環境が変わってきているようです。

それに伴い、台風や低気圧も年々観測史上最大を更新している現状が気になります。そんな中、今年3月の夜中に津波警報が発令されたとき、一瞬あの東日本大震災が頭をよぎりました。

今でもあの時、船を沖に避難しなかった決断は後悔はしていませんが、やはり海の様子は気にかかります。

今は防潮堤が整備されていますが、そこで震災前には設置しなかった防犯カメラの設置は考えていないのでしょうか。現状

では海側がほとんど見えない状態です。防犯や町民の安全のためにカメラがあれば、リアルタイムで海の様子を確認できたり、治安維持に役立つと思うのですが、いかがでしょうか。ぜひご検討をお願いいたします。

## 議会から

町では、長清水、荒砥、名足の各漁港に潮位観測システムを整備し、高潮や津波への防災対策を目的として町のホームページで潮位の観測データをリアルタイムで公開しています。

議会としても、より安全安心な漁業生産環境の構築に向けて、総務産業建設常任委員会における調査活動など、さらなる検討を進めてまいります。

今後現場の声をお寄せいただきたいと思っております。

ライブ映像配信中!



次回の本会議は12月開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。

議会開会中はパソコン・スマホから、リアルタイムでご覧になれます。  
配信映像はこちらから↓



## 編集後記

今年も早いもので台風襲来に不安を抱きながらも実りの秋を迎えることとなりました。

今回の9月会議は6日から15日まで開催されました。期間中に令和3年度決算審査特別委員会が設置され、予算執行の在り方、効果等について活発な質疑論戦が展開されました。執筆が展開されました。

重要な部分、関心の高いと思われる所を抽出し、いづれも「読者が分かりやすく忠実に」をモットーに委員6名が協力し作成しました。本年も残すところ2カ月余りとなりましたが、町民各位の生活に資することを祈念申し上げ、送品いたします。

議会広報常任委員会

委員長 後藤伸太郎

副委員長 須藤 清孝

委員 佐藤 雄一

高橋 尚勝

阿部 司

伊藤 俊

発行責任者 議長 星 喜美男